

ナルトビエイによるアサリに対する食害の防除に関する水槽実験

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 薄, 浩則, 崎山, 一孝, 山崎, 英樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010626

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ナルトビエイによるアサリに対する食害の防除に関する水槽実験

薄 浩則・崎山一孝・山崎英樹

アサリの食害種であるナルトビエイについて、体盤幅 50 ～ 85cm の供試魚を用いた水槽実験により複数の食害防除方法を比較検討した。その結果 30cm 以下の間隔での立て杭、1.6cm 目合いの被覆網、18cm 目合いの浮き網および 20cm 間隔の浮きロープで 80% 以上の残存率が得られ、防除効果の有効性が確認された。一方、アサリ大の玉石の散布は防除効果が得られなかった。また、ナルトビエイは掘ったアサリを海水とともに吸いこんで口に入れることが可能であること、殻長 10mm 程度のアサリ稚貝も摂餌対象であることが合わせて明らかとなった。

水産技術, 5 (1), 57-66, 2012